歴史ある郷土の新聞

信州民報

1946年1月16日第三種郵便物認可　第21927号

2025年（令和7年）5月22日（木曜日・仏滅）
発行所　信州民報　日刊：日・月・祝日及び祝日の翌日 休刊
〒386-0041 長野県上田市秋和問屋505　TEL 0268-22-7355 FAX 0268-22-6866
購読料 1ヵ月1,580円(税込み・送料別)

信用と実績 ひな人形・五月人形・盆提灯
人形会館 松葉彌（まつばや）
上田市中央3-6-3（原町）
0268(25)3355(代)

みすゞ飴
株式会社 飯島商店
TEL 23－2150(代)

くるみ菓子 花月
創業100余年。
地域の皆様から愛されるくるみのお菓子のお店です。
田中本店 TEL (62)0236

今日は何の日

★ガールスカウトの日
★国際生物多様性の日
★海上自衛隊に初の女性練習艦船に初めて女性15人が乗り込み遠洋航海に出発 1995年
★東京スカイツリーが開業 2012年

火星人

産地偽装

今井　裕

★ふるさと納税の返礼品をめぐる産地偽装で、制度への信頼が揺らいでいる。こうした問題が起きる背景には、制度の運用が本来の趣旨から逸脱している実態がある。

★ふるさと納税は、本来、納税者が応援したい地域を自ら選び、寄付を通じてその自治体を支援する制度である。返礼品は、その地域ならではの特産品や文化を紹介する手段であり、地域の魅力を発信する役割も担っている。しかし、近年では、魅力的な返礼品を目当てに寄付先を選ぶ傾向が強まり、制度が特産品を販売するネット通販のような様相を呈している。

★産地偽装は、少しでも寄付を集めたい自治体同士の過熱競争の副産物である姿勢で制度を運用し、透明性を確保することが不可欠だ。返礼品の調達にあたっては、生産地や製造過程を明示し、必要に応じて第三者による検証を行うなど、制度の健全性を保つためのルールづくりが求められる。

★ふるさと納税制度の本来の意義と、それを担う自治体の責任を改めて確認したい。返礼品の豪華さよりも、集まった寄付金をどう使い、地域の課題にどう向き合っていくのかが問われている。

★こうした不正を防ぐためには、自治体が責任であり、地元の生産者や事業者の努力を損なう行為である。寄付の増額を優先するあまり、チェック体制がなおざりにされている点も見過ごせない。

★こうした不正を防ぐためには、自治体が責任【上田市、中小企業診断士】

まるこ福祉会 ドキュメンタリーミュージカルに204人

『チュイチュイ左手のバイオリン弾き』

「幸せに生きる地域づくりに貢献を…」

上田市内

上田市長瀬の社会福祉　法人まるこ福祉会（柳澤正敏理事長）は19日、ドキュメンタリーミュージカル『チュイチュイ左手のバイオリン弾き』を、同福祉会きらりホールで開催。障がい者や保護者、ボランティア団体、各種団体、そして地域住民ら204人が参加した。

同ミュージカルは生まれつき左手の指が不自由な（指4本が短い）、ヴァイオリンパフォーマーの牧美花さん（53、長野市）の半生が題材。姉の通うヴァイオリン教室で、世界的な音楽教育法「スズキ・メソード」の創始者・鈴木鎮一氏（故人）と出会った牧さんが、左手で弾くヴァイオリンと共に成長していく姿を描いたもの。

森の中で白ウサギに出会ったミカさん（写真左）

舞台は不思議な国の白うさぎ・ホワイトと出会い、折れた記憶の翼を探し始める19歳のミカさんから時間がさかのぼる。2歳8カ月の時に鈴木氏と出会い、ヴァイオリンを勧められたミカさん。そして他の人と反対に持って弾く「ヴァイオリン」と格闘しながら、障がいにつまづき、克服していく姿が、ミカさんの反発や周囲の励ましと共に描かれる。

舞台上で弾きっぱなしのミカさん（写真右）

長野市のNPO法人「劇空間夢幻工房プロデュース」で、出演者はミカさんを含めて4人。ミカさん役は他の人が演じ、美花さんは舞台に出ずっぱりでヴァイオリンを弾き、パーカッションを鳴らし、時にはセリフを語り、物語りを進める。姉との死別など、悲しさを乗り越え〝折れた記憶の翼〟が戻って、舞台は終わった。

その後、美花さんはヴァイオリンの名曲を客席を回りながら、そして最後に『ふるさと』を演奏。同法人利用者らは『希望の歌』を歌って礼とし、美花さんもヴァイオリンを合わせて感動的な舞台は幕を閉じた。

同福祉会理事の小室邦夫さんは、取材に「当法人にもいろいろな障がいを持った人がいる。障がいを克服して頑張っている牧さんの半生を見て、自分たちも障がいに負けずに生きていこうという思いが持てるようにと、公演を依頼した」と話す。

さらに「地域ぐるみで『自分たちでつくりあげる福祉』について考え、実践したいことから今回の公演となった」とし、「まるこ福祉会の理念が『人に幸せの種を蒔き人を育てる』とある通り、幸せについて障がい者や地域住民と共に考え、みんなが幸せに生きる地域づくりに貢献したい」と伝えた。

なお「チュイチュイ」はニックネームで、森の中で演奏するのが好きな美花さんが、鳥に呼びかけていることから名付けられたという。

坂城町議会

議長に中嶋 登議員を選任 副議長は大日向 進也議員

坂城町議会は20日、第2回臨時会を開会。申し合わせ任期（2年）の満了に伴い、新たに議長に中嶋 登（なかじま のぼる）議員（76、無所属）、副議長に大日向 進也（おびなた しんや）議員（51、無所属）を選任した。ともに新任で、任期は2年間（2027年4月30日まで）。

坂城町議会

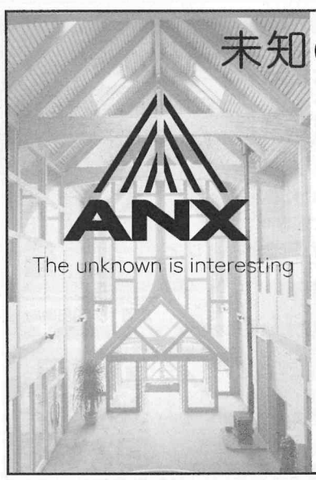
委員会構成 正副委員長 決まる

坂城町議会は20日、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の新たな構成と正副委員長を決めた。各常任委員会などの構成は次の通り（◎は委員長、○は副委員長、敬称略）。

【常任委員会】
◇総務産業＝◎玉川清史、○星哲夫、中嶋登、滝沢幸映、朝倉国勝、水出康成、塚田舞。◇社会文教＝◎山城峻一、○宮入健誠、大日向進也、大森茂彦、祢津明子、中村忠靖。

【議会運営委員会】
◎中村忠靖、○玉川清史、大森茂彦、山城峻一、水出康成。

【特別委員会】
◇地域交通網対策＝◎朝倉国勝、○宮入健誠、山城峻一、玉川清史、星哲夫、中村忠靖、水出康成。◇広報発行対策＝◎大日向進也、○塚田舞、星哲夫、中村忠靖、宮入健誠。◇議会改革等＝◎塚田舞、○祢津明子、中嶋登、大日向進也、大森茂彦、朝倉国勝、山城峻一。◇坂城駅周辺活性化＝◎星哲夫、○塚田舞、大日向進也、大森茂彦、滝沢幸映、玉川清史、水出康成。



未知の世界はおもしろい
図書館システムソリューション
システムインテグレーション
エンタープライズ
アウトソーシング
健康経営優良法人／長野県SDGs推進企業
ISO14001認証／ISO27001認証／プライバシーマーク認定
株式会社ANX
〒386-1211 長野県上田市リサーチパーク813-11
TEL 0268-37-1500 URL:anx.inc
本社・長野支社・東京支社・中南信支店・群馬支店

未来を建てる。それが私たちの使命です。
MIYASHITA 株式会社 宮下組
代表取締役社長　石塚 博敏
〒386-0017　長野県上田市踏入二丁目1番17号
TEL:0268-22-0271　FAX:0268-25-6124
www.miyashitgumi.co.jp/

●ご購読申し込み・情報なんでも「信州民報」TEL0268(22)7355 FAX0268(22)6866 ●E-mailはs-minpo@h6.dion.ne.jpへ

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています